

報道機関各社 殿

(各社への連絡は幹事社からお願いします。なお、各社宛 F A X は配信済みです。)

平成 2 8 年 1 月 7 日

午前 1 1 時発表

室 蘭 海 上 保 安 部

## 広 報 資 料

問い合わせ先

室蘭海上保安部

次長 植木 聖

(電話:0143-23-0118)

### 平成 2 7 年における海難等発生状況について (速報値)

平成 2 7 年の室蘭保安部管内で発生した船舶海難及び人身事故発生状況(速報値)を下記のとおりお知らせします。(詳細は、別紙 1、2 のとおりです。)

本年も「船舶海難及び死亡・行方不明者ゼロ」を目指し、「出航前点検の励行、運航中における海上交通ルールの遵守」及び「ライフジャケット常時着用、連絡手段の確保、海のもしもは 1 1 8 番通報」をスローガンとして、海難防止活動を強力に推進することとしています。

#### 記

#### 1 要救助船舶海難

- (1) 船舶海難の種別・隻数
- (2) 船舶海難の発生状況
- (3) 主な事例

#### 2 人身事故

- (1) 海浜事故及び乗船者の人身事故の種別・人数
- (2) 人身事故の発生状況
- (3) 主な事例

#### 【用語の意味】

##### 1 船舶海難

海上において発生した船舶事故(衝突、転覆等)

##### 2 海浜事故

海浜において発生した人身事故(岸壁からの転落、負傷、病気等)

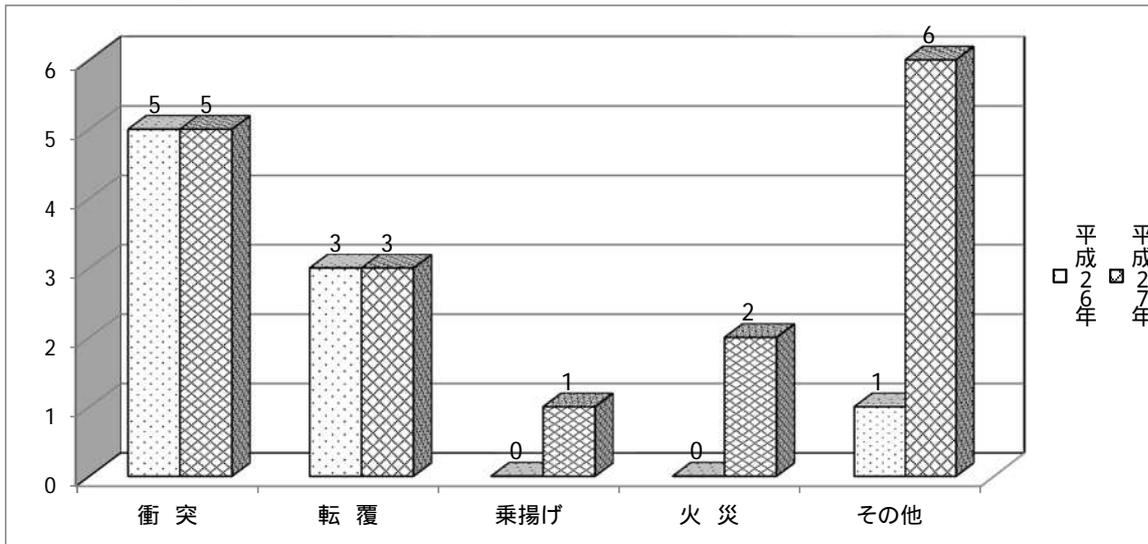
##### 3 乗船者の人身事故

船舶海難以外の事由により発生した船舶乗船者の事故(船舶からの海中転落、作業中の負傷等)

# 船舶海難

別紙1

## 1 船舶海難の種別・隻数



年 別	合 計	船舶海難の種別・隻数					再 掲	
		衝 突	転 覆	乗揚げ	火 災	その他	全 損	死亡・行方不明者(人)
平成27年	17	5	3	1	2	6	3	3
種 別	貨物船	2	2					
	漁 船	4	3		1		2	
	プレジャー	9		3	1	5	1	2
	遊漁船	0						
	その他	2			1	1		1
平成26年	9	5	3	0	0	1	0	1
種 別	貨物船	0						
	漁 船	4	2	2				1
	プレジャー	1				1		
	遊漁船	0						
	その他	4	3	1				

## 2 船舶海難の発生状況

発生隻数は17隻で前年比8隻の増加となっています。

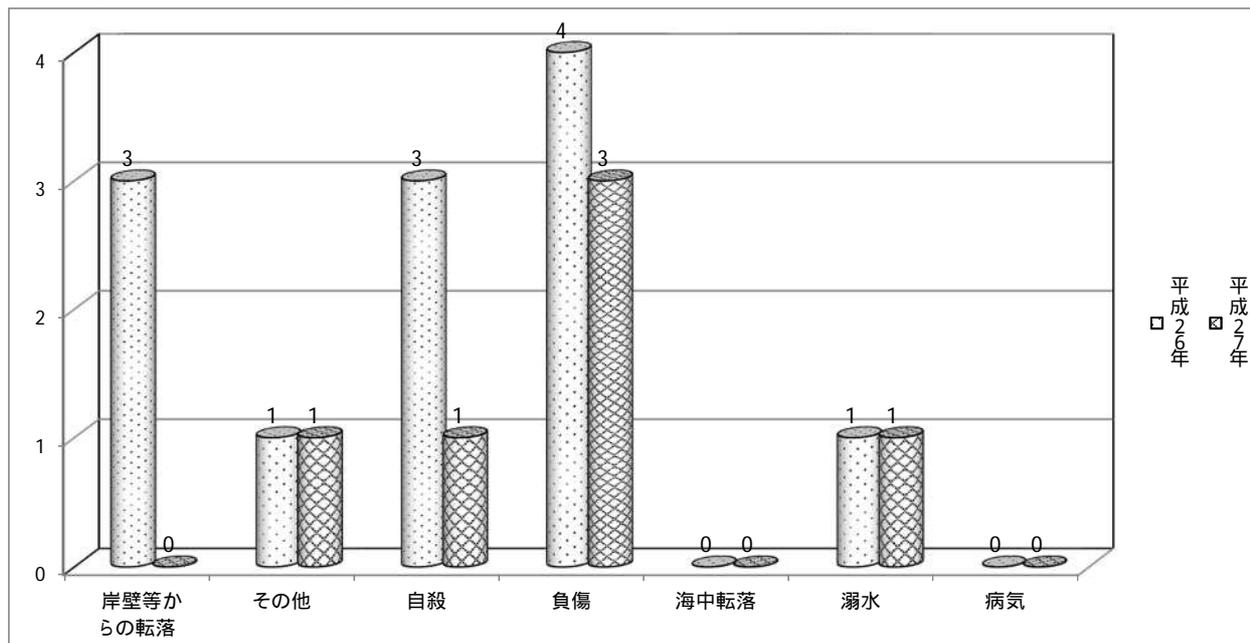
- 室蘭港内で冬季における海難が昨年の1件発生に続き、平成27年は2月と12月、貨物船による衝突事故が発生しました。
- プレジャーボート(ミニボートを含む)による海難が、平成27年は5月2件、7月3件、9月3件、10月1件と集中して発生しました。中でもゴムボートによる海難が4件発生し、船の構造が不安定な上、風・波等の影響を受けやすいことが原因と思われる。また、免許が不要なミニボートによる海難は4件発生しました。その内2件については、船を扱うために必要な知識が不足していることが原因の1つと考えられます。
- 当部管内では、火災による海難は平成23年以降発生はありませんでしたが、平成27年は7月に旅客船1件、10月に漁船1件の計2件発生しました。

## 3 主な事例

- 2月には、室蘭港内で貨物船が出港時、見張り不十分であったため、防波堤に衝突しました。
- 5月には、伊達沖で釣りをしていたプレジャーボート(ゴムボート)が転覆し、乗船していた2名が亡くなりました。
- 7月には、苫小牧南方沖で大洗港発苫小牧港向け航行中の旅客船から火災が発生し、乗員1名が亡くなりました。本件は、消火活動中に乗員1名が亡くなるという残念な結果となりましたが、船長の的確な判断により「総員退船」を発令し、残りの乗員・乗客93名は付近を航行していた船舶と当庁巡視船艇により、無事救助されました。

## 人身事故

## 1 海浜事故及び乗船者の人身事故の種別・人数



(人数)

年別	合計	海浜事故の種別・人数						乗船者の人身事故の種別・人数		
		マリレジャー			マリレジャー以外			負傷	海中転落	病気
		岸壁等からの転落	溺水	その他	自殺	岸壁等からの転落	その他			
平成27年	6		1		1		1	3		
死亡 行方不明	2		1		1					
平成26年	12	1	1		3	2	1	4		
死亡 行方不明	5		1		2	1	1			

## 2 人身事故の発生状況

発生人数は6名で、前年に比べ6名減少しており、前年多発していた岸壁等からの転落事故は発生していません。また、事故者6名のうち2名が亡くなっており、いずれも夏場に発生した事故となっています。

## (1) 海浜事故

マリレジャーに伴うもの

発生人数は1名で、前年に比べ1名減少しました。

種別では溺水が1名で、遊泳中の事故で亡くなりました。

マリレジャー以外のもの

発生人数は2名で、前年に比べ4名減少しました。

種別では自殺が1名、その他(潜水作業中の負傷)が1名となっています。

## (2) 船舶海難によらない乗船者の人身事故

発生人数は3名で、前年に比べ1名減少しました。

種別では負傷が3名で、全て漁業者による事故となっています。

## 3 主な事例

- 4月には、黄金沖で船上作業中の漁業者がロープを巻き取る機械とロープの間に挟まれ負傷しました。
- 6月には、登別沖で潜水作業中の漁業者が操業に使用していた漁船のプロペラに接触し負傷しました。
- 8月には、室蘭に帰省中の社員がイタンキ浜で遊泳中、離岸流に流され亡くなりました。
- 8月には、室蘭港内で無職の女性が海中転落し、亡くなりました。